



犬用 pHコントロールは、下部尿路疾患(ストルバイト結石症およびシュウ酸カルシウム結石症)の犬に給与することを目的として、特別に調製された食事療法食です。この食事は、マグネシウムなどのミネラル成分を調整し、タンパク質含有量を制限*1しています。

この食事療法食の対象



● 犬の下部尿路疾患 ● 尿路結石症(ストルバイトおよびシュウ酸カルシウム)

ストルバイト結石(リン酸アンモニウムマグネシウム)の構成成分であるマグネシウムの含有量を制限*2しています。またストルバイトおよびシュウ酸カルシウム両結石に配慮して、各ミネラル成分のバランスを調整することによって尿pHを弱酸性に維持し、さらに飲水量を確保して尿量の増加を促すよう設計されています。

*中・高齢期の犬では、pHコントロールを給与する前に心機能および腎機能をチェックすることが推奨されます。



*シュウ酸カルシウム結石の予防には尿を希釈することが重要です。とくに「犬用 pHコントロール ウェットタイプ(缶、パウチ)」が推奨されます。

*ヨーロッパにおける食事療法の規則*3に基づき、給与開始から5~12週後に、継続して使用する場合も定期的な診察を奨励しています。

*3: DIRECTIVE ESTABLISHING A LIST OF INTENDED USES OF ANIMAL FEEDINGSTUFFS FOR PARTICULAR NUTRITIONAL PURPOSES 94/39/EC

成分	単位/400kcal	成分	単位/400kcal
タンパク質*1	17.9g ↓	銅	1.19mg
脂肪	23.8g	亜鉛	11.90mg
食物繊維	6.8g	ナトリウム	0.45g
灰分	4.5g	EPA+DHA	1012mg
水分	214.3g	L-カルニチン	—
炭水化物	32.7g	タウリン	0.57g ↑
カルシウム	0.7g	アルギニン	0.80g
カリウム	0.71g	ビタミンE	59.5mg ↑
リン	0.74g ↓	ビタミンC	—
マグネシウム*2	0.06g ↓ ↓	ビタミンB群	11.43mg
鉄	7.44mg		

↓やや制限 ↓↓制限 ↑やや強化 ↑↑強化

代謝エネルギー ... 134kcal/100g



1日の給与量の目安

成犬の体重 (kg)	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	30	40
標準	165g	270g	365g	450g	525g	605g	675g	745g	810g	875g	1175g	1450g
調整範囲	最大	205g	340g	455g	560g	660g	755g	845g	930g	1015g	1095g	1470g
	最小	120g	205g	270g	335g	395g	450g	505g	555g	610g	655g	880g

ここに表示されている給与量はあくまでも目安です。個体差や活動量に応じて最大値と最小値の範囲内に調整を行ってください。

使用が推奨されない病態等

- **妊娠/授乳期、成長期**
タンパク、リンなどが不足するため推奨されません。
- **慢性腎臓病、代謝性アシドーシス**
尿を酸性化するよう栄養学的に設計されているため、代謝性アシドーシスを助長する恐れがあります。
- **心疾患**
尿量を確保するために必要なナトリウム量が心疾患のリスクとなる恐れがあります。
- **尿酸化剤使用時**

原材料

鶏肉、鶏レバー、コーン、コーングルテン、サンフラワーオイル、魚油、セルロース、ミネラル類(Ca, P, Na, K, Cl, Zn, Fe, Mn, Cu, I)、増粘多糖類、アミノ酸類(タウリン、DL-メチオニン)、調味料(アミノ酸等)、ビタミン類(E, コリン, B1, ナイアシン、パントテン酸カルシウム、D3, B6, Be, 葉酸、ビオチン, B12)

*調達の都合により、原材料を変更する場合がございます。

追加情報

- 本バラエティーにはウェットタイプ(パウチ)、ドライタイプもあります。
- 下部尿路疾患に適応する食事療法食には、さらに嗜好性を強化した、「犬用 pHコントロール スペシャル(ドライタイプ)」もあります。
- ストルバイト結石症や尿路感染症時の食事管理は、5~12週間以上の給与が推奨されます。
- 細菌性の場合には、尿結石の消失後、少なくとも1ヶ月の継続給与が推奨されます。
- 尿石症の症状消失後の食事管理には、「犬用 pHコントロール」で管理するか、「犬用 ベッツプラン ニュータードケア(ドライタイプ)」, 「犬用 ベッツプラン pHケア(ドライタイプ)」などの尿石症を考慮した食事で管理するなどの方法があります。いずれにしても、定期的に尿pHや尿比重をモニターしながら適切な食事を選択することが重要です。
- 食物アレルギーも同時に疑われる場合の食事療法食には、「犬用 低分子プロテイン+pHコントロール(ドライタイプ)」があります。
- 下部尿路疾患で肥満が気になる場合の食事療法食は、「犬用 pHコントロール ライト(ドライタイプ)」もあります。
- シュウ酸カルシウム結石は内科的に溶解することはできませんので、外科的に除去することが必要です。
- 本製品の各適応に対して選択いただける他のバラエティーについては、「疾病からみる適応表(P.7, P.8)」をご覧ください。